

積極的には練習していない既習教材を組織的に再導入することができる。このようにして生徒の倦怠感なしに要点の繰り返しかえしをすることによって既習の課の教材の保持 (retention) がたえず強化されることになろう。

次に教科書付属のテープを活用する立場で前掲書のリパス (W. M. Rivers) の手法をいくつか紹介しよう。

- (1) 既習の読みの教材の中にある句や文の識別
 - ア A man _____ for two hours.
 - イ Mark Twain sat and _____ his speech.
 - ウ (N. P. E. 2. p. 41)
- (2) 保持なしの識別と選択 (Identification and selection without retention)
 - ・話の筋に発展性のある連続した文章を聞きその筋を追っていく。聞き終わってから要点、あらすじが書ければよい。能力によっては単語だけ、1語だけでもよいことにすれば容易に導入できよう。
- (3) 短期保持を伴う識別と指示つき選択 (Identification and guided selection with short-term retention)
 - ・既習の対話文または読みの教材を聞いて生徒は配布されたプリントの正誤問題 (True-False) をする形式
 - () An English student went to a city in the north of America to study there.
 - () The sun will come into the room during the morning.
..... (N. P. E. 2. p. 39)
 - ・多肢選択解答をみながらテープを聞いて、その後、教師の英語での質問に答える形式
- (4) 識別と選択と長期保持 (Identification, selection and long-term retention)
 - ・用紙に書かれた質問に聞いたあとで答を書く形式
 - ア Where was an old man standing?
 - イ Did she dance very fast?
..... (N. P. E. 2. p. 31)

おわりに

とにかく、日常の授業の中で、まとまりのある内容を聞いてわかる作業が不足しているのではないか、テープを聞かせばなしでいないか反省したいところである。教科書をみないで聞いてどの位わかるか、わかるようになったかという訓練のしかたに少しでも参考になれば幸である。

音声教材の紹介

学校で学習した英語を基礎に英語の聞く能力、話す能力を更に向上することを目的として作られたもので、教師や生徒の会話力の進歩と共に発展的に扱えるように工夫されたユニークなものであり、クラブ活動にも活用できる。

English Conversation Through Pictures 1 (ELEC)

¥ 2,860 (カセットテープ共)

Lesson 1~41 までであり、3つのタイプに分れている。A: おもな sentence の理解、練習に重点をおいた対話練習 (an introductory lesson) B: 簡単な対話の練習をしてから絵に従って会話を変化させる練習、絵の内容をもとにして広範囲の drill も可能である。(a basic lesson) C: 絵と簡単な文を十分に練習してから質問に答える練習 (story pages) 次の絵は Lesson 16 (Bタイプ) である。

——生徒用テキスト例——

A : Can George sing?
B : Yes. He can sing pretty well.
A : Can Frank sing, too?
B : No. He can't sing at all.

54 George can sing.
55 Mary can dance.
.....